

サリン対応マニュアル

病院	第一報受信 患者到着 除染 救命措置 鑑別診断*	重症度判定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 重症：痙攣、呼吸障害、意識障害、弛緩性麻痺 中等症：鼻汁、嘔気・嘔吐、発汗、流涎、 筋攣縮、呼吸困難 軽症：縮腫、鼻汁 極軽症：縮腫 (薄暗い、ぼんやりする等の自覚症状のみ) </div>	治療	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 呼吸循環管理 硫酸アトロピンの投与：初回量2～6mg投与 PAMの投与：初回量1～2gを生食250mLに溶解し20～30分で点滴静注 痙攣：ジアゼパム投与 気管支痙攣：アトロピン投与で不十分な場合は 交感神経刺激薬や気管支拡張薬の投与 症状消失（縮腫を除く）まで入院経過観察 眼症状のみ：トロピカミド等点眼 </div>
	患者名簿作成 検査：血液ガス分析、赤血球ChE検査、分析用検体（血液・尿・吐物等）採取・提出（琉球大学等へ） 解毒剤準備開始 院内緊急連絡 ベッド確保 対策本部へ経過報告（随時） （応援スタッフ）（ICU、経過観察用）（発生状況、症状・重症度、患者再搬送依頼、解毒剤追加等）			
中毒 派遣医	助言・相談 / 検知紙結果の検討 / 治療マニュアル各部署へ 対策本部へ状況報告（随時）	治療（必要な場合）	分析結果の検討・助言	中長期的経過観察
日本中毒 情報センター 対策本部	起因物質の検討（中毒君、DB等） 病院の状況確認（随時） 解毒剤再配備（必要に応じて） 推定原因物質連絡 / 治療マニュアルの配布 他機関より検知結果入手し中毒臨床医へ連絡 検知紙キット結果により治療マニュアルの追加送付		分析結果入手し中毒臨床医へ連絡 分析結果により治療マニュアルの追加送付	
備考	二次汚染予防 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 保護具レベルD着用 特に吸入曝露に注意 重症患者の呼気に注意 サリンは空気より重い 患者衣類・吐物等密閉 液付着：検知紙で確認 </div>	*神経剤、びらん剤、血液剤、窒息剤、催涙剤等の鑑別（別紙） *検知紙キットの使用方法（別紙、除染前に検査）		